

事業所名 ぐんぐんPOE

支援プログラム

作成日 2025 年 3 月 21 日

法人（事業所）理念		手話言語獲得習得を目的とした学びの場で、きこえない・きこえにくい子どもを対象とした保育・発達支援を行う		
支援方針		手話言語（日本手話）を保障する支援 きこえることによって体験できる学びを目で見て吸収し理解できる環境を保障するものである		
営業時間		平日 10 時 00 分から 17 時 00 分まで 学校休業日 10 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの生活サイクルを大切にした支援（トイレトレーニング、睡眠リズムの安定、食事のフォローなど） 健やかな身体と心を育む 視覚的に情報がキャッチできるように配慮がなされたデフスペースで、手話でのコミュニケーションを軸にした円滑な集団生活を保障 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ルールのある運動遊びを楽しむ中で、運動能力や身体操作性を高める 運動施設や公園での遊びを通して、目標に連動させた体の動き、感覚運動統合を養う 工作（創作）を通して、身体操作性、感覚統合の力を促す 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 季節や行事をテーマとする「手話ばんばん（手話表現作品）」を使い、イベントを工夫して、会話をとおして成長に合わせた概念形成を促す。下位概念から上位概念へつなげることを目指す。 日常の中での小さなルールを理解し、行動につなげる力を養う（例：点灯合図で次の行動へ移る、帰る前はトイレに行く） 「全体の流れや活動の内容を理解、記憶し、状況から推測して行動を選択し、実行する力を養う 		
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 個別対応やグループ活動をとおして、手話言語獲得習得を支援する 絵本よみ、手話劇、手話ばんばんなど、ネイティブサイナーによるプログラムによって、手話言語獲得習得を促進する 子どもの発達に応じて、日本語の習得の機会を提供する 		
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達に合わせ、個別から集団へと遊びや会話を展開していく支援 他学年児とのかかわりによって、相互的調整の力を育む 自身の考えを伝え、相手の意見を受け止め、交渉を重ねる力を育む 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 手話勉強会、保護者交流会（子どもとの関わり、子育てに関する情報交換など） レスパイトや就労等のための預りニーズに対応する支援 個別相談の機会の提供 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 学校や関係機関との連携を通じて、子どもの状態や支援内容を共有し、円滑な移行に向けた支援を調整する
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 大阪府難聴児支援中核機能拠点「ひだまり・MOE」（NPOこめっこ）との連携 学校や関係機関との情報共有や調整を行い、地域の支援事業所と連携して生活・発達支援を行う 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> プログラムや支援の質、手話言語力の向上のための研修の開催 義務化された研修の実施と、必要に応じた外部研修への参加
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせたイベントの開催 NPOこめっこ や外部のイベントや企画への参加 		